

最良の看護を、創造し続ける。



社会医療法人 医真会グループ

看護師募集案内



実践を重ね、最良の看護を創造し続ける。

日々、それぞれの現場で最前線に立つ看護師は、地域の人びとに元気を与える大切な存在です。

しかし、「人を相手にする」ということは、教科書だけでは決して学びきれません。

医真会の看護師は、とにかく実践し、挑戦し続けることで、「本当に必要とされる看護とは何か」を自分で考えていくことを大切にしています。

刻々と変わる現代において、自分の置かれる環境に変化が訪れたとしても、常に最良の看護を創造し続ける。

医真会全体としても、看護師それが抱える想い・向上心を追求できるよう「学び」や「キャリア」、そして日々の「働きやすさ」を、グループだからこそ実現できる総合力でバックアップしています。



働きやすさ、キャリアの継続を応援します。

1. 子育て支援

職員の子育てをバックアップ！

院内保育所・学童を完備し、24時間保育士が常駐。

夜勤の日でも安心して利用できます。

※病児保育は企業主導型保育園で行っています。



信頼関係を何より大切にしています。

森の子保育所はスタッフ全員が保育士免許を持っており、生後4ヶ月頃から預けていただけます。子どもたちがとても楽しく、生き生きと過ごせる場所であるために、スタッフ全員が一人ひとりに寄り添った保育をします。同時に保護者の皆様にとっても勤務に集中できるよう安心して預けられることは重要です。相談しやすくなるよう顔を合わせた時は会話をし、信頼関係を大切に築いています。



森の子保育所 所長 / 米田理子

2. 各種奨学金等制度

医真会では医療の質の確保・向上のため、看護師を目指す学生を応援しています。



[詳しくはこちらをCHECK!](#)

3. 住まいサポート

遠方の職員（単身者）が医真会で安心して勤務できるように、住まいをサポートしています。

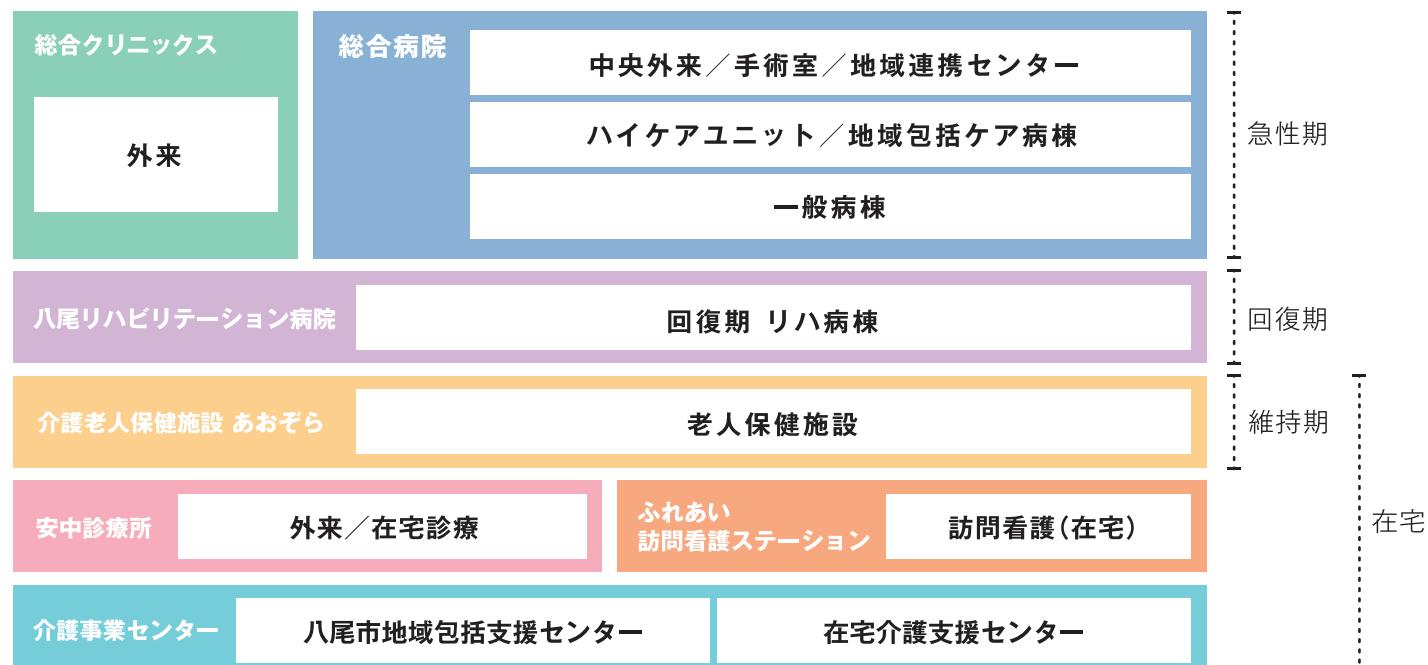
社会医療法人医真会グループの看護

目指すキャリア・ライフスタイルに応じた働き方に対応できる、グループの強み。

学びとキャリア

医真会は救急看護から訪問看護まで、各機能に応じてグループ全体で患者さんに寄り添っています。様々な看護や現場を経験したい方にとって、幅広い学びとキャリアを実現できる場所もあります。

また、施設ごとで働き方もそれぞれなので、ライフスタイルに合わせ柔軟な働き方も可能です。





「看護は実学」これは私の恩師の言葉であり、私の大好きな言葉でもあります。対象者である患者さんは日常生活の中で疾患やそこから発生する病状に苦しんでいるのであって、机上の空論では苦痛を緩和する事はできません。実際に触れあうからこそ感じる対象者の苦痛をいち早くキャッチし、知識を知恵に変え、患者個々に合ったケアが提供できるよう高い実践能力を身に着ける為の卒後教育に注力しています。

それを実現できる指導者として、副部長を筆頭に当院には複数の優秀な看護科長が在籍しています。地域住民の方々から信頼される看護師へのキャリアアップを目指しませんか。

看護部 部長 乾 静



当院看護部では「看護は実学」の考え方の下、実践教育を最重要視した教育体制を構築しています。特定の指導者だけでなく看護科長を中心とした部署のスタッフ全員で新人看護師を全力でサポートしています。しかし、新人看護師達にとって未知の世界である医療業界にすぐに適応する事は容易ではありません。そういった社会人あるいは医療従事者への適応を支援する取り組みとして教育専従者が新人看護師ひとり一人と個人面談を3ヶ月毎に行ってています。面談では看護実践における課題克服のためのアドバイスなど多岐にわたる悩み相談として幅広く関わるようにしています。

看護部 副部長 飛田 勇介



診療科目

総合内科／消化器センター内科／内視鏡センター／消化器センター外科／整形外科／循環器内科（心臓センター内科）／脳神経外科／歯科口腔外科／眼科／麻酔科／救急部（救急外来）

当院は実践教育を最も大切にしています。看護師という仕事には理論や知識も大切ですが、24時間365日患者さんのそばに寄り添うのは私たち看護師です。目の前の患者さんを少しでも楽にしてあげたい、元気に退院してほしい、そんな思いに即応できる看護師を育てたい。そして、そんな看護師を育てる環境をつくることが私の役割だと感じています。質の高い看護を提供するためには、看護をする私たちが常に他者への心配りをもつことが大切だと考えます。自分も周囲の人々も大事にしながら、一緒に育つ教育を実践していきたいと思っています。

看護部 教育専従科長 米本 尚子

教育担当者メッセージ



看護職員研修 「教育」は「共育」

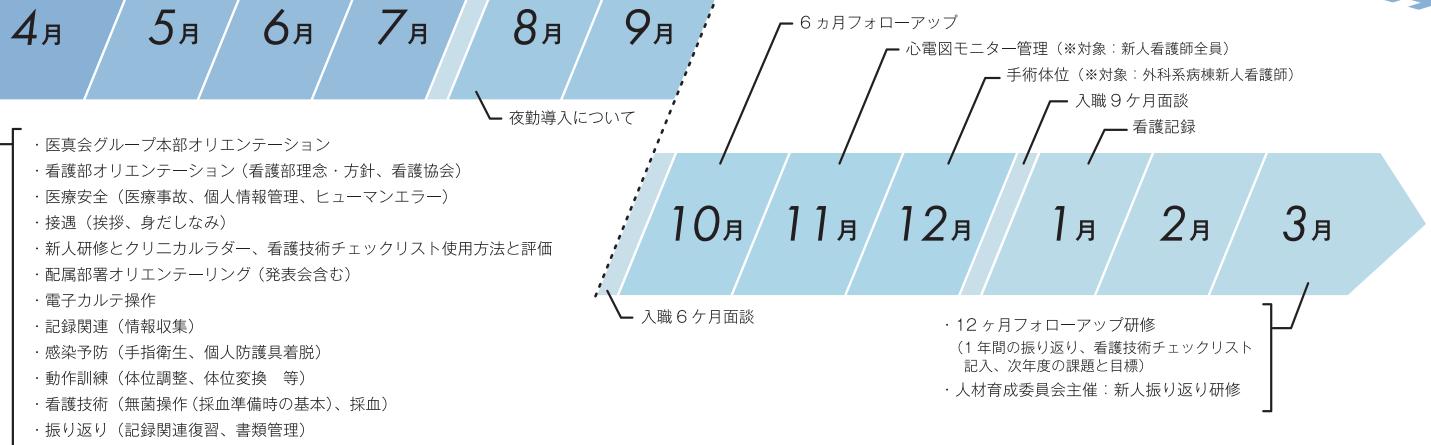
当院の研修は他施設とは少し違っています。教育委員はいますが、その担当者が研修を担うのではなく、全職員参加型を狙っています。具体的には、看護単位それが日常業務の中で実践している分野の知識や技術を他部署のスタッフに対して提供するということを実施しています。研修企画、講師、アシスタント、すべてをその担当部署が担います。日々の看護実践の中で、培った知識や技術を受講する他部署のスタッフに伝えることで、受講した看護師はもちろん、研修を実施した看護師も一緒に成長する、まさに「共育」です。

2022年度自部署研修プログラム

● 心臓カテーテル検査について	(担当部署 中央外来)
● 透析の基礎知識	(担当部署 透析室)
● 術中体位	(担当部署 手術室)
● 衛生材料の取り扱い	(担当部署 手術室)
● 揮管介助の方法	(担当部署 HCU)
● 心電図モニターの管理	(担当部署 循環器内科)
● 不整脈について(頻脈)	(担当部署 循環器内科)
● ごはんを食べよう Let's try アイスマッサージ ～嚥下機能低下のある患者～	(担当部署 脳神経外科)
● 胃管チューブの管理	(担当部署 消化器外科)
● 退院支援ナースの育成をめざして	(担当部署 地域包括)
● DVTとその予防法	(担当部署 整形外科)
● 新型コロナウイルス感染防止	(担当部署 救急病棟：コロナ受け入れ専用病棟)



新人看護職員研修計画



新人看護師オリエンテーリングでは、配属部署の病室やトイレなどの設置環境、非常口や防火扉の位置、物品の保管場所などを自分たちで情報収集をして模造紙にまとめて発表します。



採血研修はしっかりと1週間以上行います。お互いに採血をしあうことで、シミュレーターで得られない患者さんの痛みを体感するのはもちろん、ライセンスがあるからこそ侵襲的な処置ができるという責任感を養っていきます。採血研修期間中は先輩看護師をはじめ看護部の枠を超えて、医師である理事長を筆頭に全職種が新人看護師の育成に協力してくれます！



実際の臨床現場を想定したシミュレーション型BLS研修です。秋に行いますがその理由は、少しずつ1人でできることが増えたり夜勤が始まりたりする時期に合わせています。患者さんの急変に遭遇することを考えて皆、汗だくになりながら研修しています。

教育関連職員メッセージ



整形外科病棟 副主任 村尾 紗美

私たちは、馴染みやすく活気あふれる環境づくりに取り組んでいます。そのため普段からコミュニケーションを図り、先輩看護師にいつでも相談できるようその人の能力や捉え方、考え方を理解したうえで、その人にあった的確な指導ができるように心がけています。また、個々の能力やニーズに合わせてクリニカルラダーに基づいたチェックシートを活用することで段階的な教育体制を目指しています。一年を通して、個々の成長に応じて適時指導を行うなど新人育成をしています。部署の教育委員として、どんな悩みでも気軽に相談できるような存在でありたいと思っています。



循環器内科病棟 小山田 愛理

臨床経験が浅く実地指導者となりましたが、新人さんを指導する中で自分自身の知識・技術不足を痛感しています。不安や悩みは多々ありますが、同期や先輩方に支えられながら共に指導を行っています。指導者としての自覚を持ち模範となる行動をとりながら、指導を通して自分自身もスキルアップできるように頑張っています。新人さんとの関わりの中で、相手の性格や得意なこと、あるいは苦手なことを見極めながら一人ひとりを理解した指導を心がけたいと思っています。そのためにも普段からコミュニケーションをじっくりとりながら人間関係を構築しつつ、気軽に相談ができ、頼れる指導者になれるよう日々頑張っています。



私は今回初めて主担当者として指導する立場となりました。指導の現場では、仕事の時間配分や未経験業務のサポート、業務の流れやその意味病態説明など指導することが多く大変だと思うと同時に、自分が1年目の時も先輩に見えないところで色々サポートしてもらっていたんだなと改めて実感しました。担当している新人さんとは良い関係性が築けていますが、私自身が人見知りなので、話しかけやすい雰囲気を作るように工夫しています。



新型コロナウイルス感染症により様々なことが変化し、多くの人が感染対策の重要性を再認識するきっかけとなりました。また経験したことのない様々な困難な状況に幾度となく遭遇し、そのたびに多くの職員に支えられ乗り越えることができ、チーム医療の力を改めて実感しました。

今回の感染症により、施設内の対策のみならず、地域のリーダー的存在となり、地域全体の感染対策の底上げをすることが医真会八尾総合病院の役割として求められています。さらなる地域全体の感染対策の底上げを目指し、多職種と共同して、行政、医療機関(病院、診療所)、社会福祉施設等と連携し地域全体の感染制御に大きく貢献したいと思い日々活動しています。

医療安全管理室 感染管理専従科長(感染管理認定) 吉本 理恵

専門分野である創傷管理、スキンケア、排泄ケアを通じて、多職種と連携しながら、患者さんのWell-Beingに繋がるケアをチームで実践できるように努めています。中でも排泄ケアに関しては羞恥心が伴うため、相談しにくい事情があり、一人で問題を抱えておられるケースも少なくありません。排泄管理が整うと気持ちが前向きになり、心身の健康に大きな影響をもたらすことができると考えます。オストメイトの方がセルフケアを確立したとき、寝たきりの方がトイレ排泄できたときなど、もともとの活気を取り戻し、さらにその後の健康回復という嬉しい過程を幾度も目にしてきました。ケアをする側・受ける側、誰しもが心地良いと感じる排泄ケアを目指して、今後も丁寧な観察と細やかな介入に努めています。

医療安全管理室 皮膚・排泄ケア専従主任(皮膚・排泄ケア認定) 吉岡 佳子



入院前センターは2022年4月に新設されました。看護師・薬剤師・管理栄養士・医療事務が関わり、手術や検査の入院を予定されている方とご家族に、入院生活に関するオリエンテーションや治療などの説明、入院に必要な書類、お葉や入院費用のことなど多岐にわたる内容を説明し、入院に伴う漠然とした不安を取り除くことを目的としています。事前に手続きを行っていることで入院当日までの段取りもわかりやすく、多職種で知り得た大事な情報を病棟と共有し、患者さんの安心に繋げることに力を入れています。

患者さん・ご家族とゆっくり関われる場とし、お気持ちを傾聴し、ひとつひとつ紐解くことで治療に専念できる環境を提供してまいります。

(右)地域連携センター医療連携科 副部長 金村 恵子 (左)看護部 科長 佐野 由香里

男性看護師、多数活躍中！自身の目標を語ってもらいました！

今年の目標はカテーテル検査・治療室の看護師として一人前になることです！

中央外来 尾崎 義仁



患者さんの病態を適切にアクセスメントできる看護師を目指しています！

HCU 北井 健一郎



優しい先輩方に指導してもらっています。患者さんから信頼される看護師を目指しています！

消化器・口腔外科病棟 西岡 基樹

今年から実地指導者として新人さんと一緒に自分も成長できるよう頑張っています！

脳神経外科病棟 横本 紀弘





専門スタッフのヨコ連携で、質の高いチーム医療を展開する
医真会八尾リハビリテーション病院

先輩、後輩が互いを尊重し、共に協力して信頼し合う。

一人ひとりが仕事を通じて自己成長できる場所です。

医真会八尾リハビリテーション病院は、急性期治療と在宅を結ぶ重要な中継点となる、120床の回復期リハビリテーション病棟です。退院後の生活を行えることが患者さんにとって何より大切なことであると考え、施設内にはお風呂やキッチンなど、本物の住環境設備も設置し、リハビリ環境を整えています。

患者さんやご家族の気持ちに寄り添う看護をするために、多職種と連携しより良い方向へ向かうよう支援します。また、困っている職員には問題の共有を図り、解決への手助けをします。こうした関係性が自己成長を促し、質の高いチーム医療へつながっています。

看護部 部長 下村 峰子



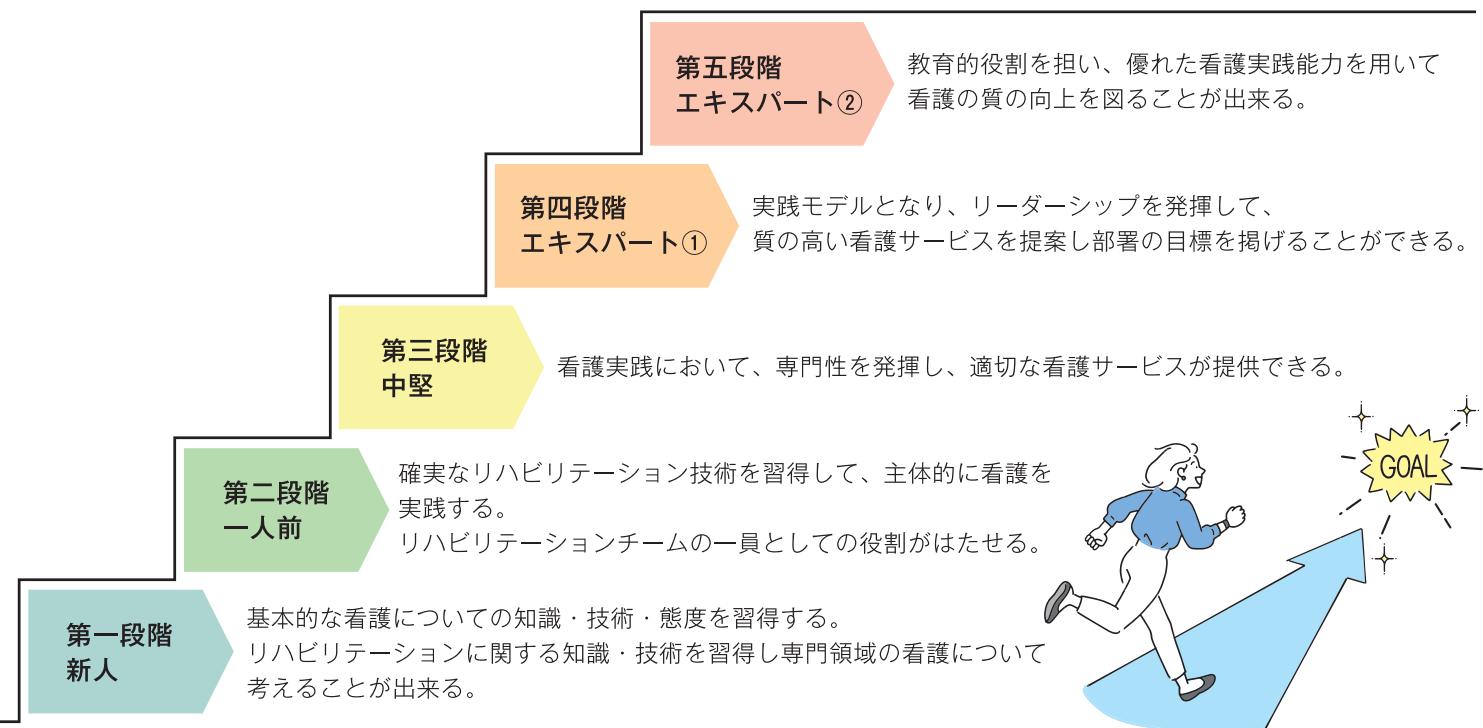
代表者挨拶



診療科目

内科／リハビリテーション科

医真会八尾リハビリテーション病院看護部 教育ステップ



**新入職の方が、安心して職場環境に慣れるよう、
また安心して看護技術を習得し、業務に慣れるようお手伝いします。**

具体的方法

1. わかりやすく丁寧な指導を行います。
2. 臨床現場での指導は、プリセプター、主任、科長となり行います。
また、具体的な指導はスタッフ全員で行います。
3. 個人に応じた指導を行います。

-VOICE-

科長からの一言



患者様、ご家族様に寄り添い、
退院後の生活が送れるように
スタッフ全員で関わっています。

科長 山根 文子



新しいことをゆっくり習得していくよう、
サポートします。

科長 坂本 幸恵

先輩のある1日を見てみよう



福森 彩／看護師

2015年入職

患者さんとの会話は私にとって大変楽しく、人生の先輩として教えていただくこともたくさん。思うように身体を動かせない患者さんそれぞれの気持ちに寄り添い、ときに無言や沈黙もありますが、どんな状況でも患者さんの変化にいち早く気づけるよう、見守っています。

医真会八尾リハビリテーション病院では、相手を知っているかどうかや、立場の上下など関係なく、とにかく挨拶が元気です。活発なコミュニケーションでお互いに助け合い、そんな所が良いなと感じます！

8:30

勤務開始

点滴の準備や、オムツ交換、排泄介助等を行います。



9:00

ミーティング

責任者からの連絡共有、夜勤者から、日勤スタッフ・リハビリスタッフへ申し送りを受けます。



9:30

患者ラウンド

必要なバイタルサインを実施し、医師の指示に沿って処置をします。また、排泄介助、ナースコール対応もします。



11:30

昼食休憩

13:30

カンファレンス

他業種スタッフと患者の状態や、今後について情報共有。患者の目標達成にむけ、評価修正を行います。



15:00

ADL 拡大時

リハビリスタッフと環境設定を検討。ADLを拡大していく患者が、安全な療養生活をできる環境を整えます。



17:00

処置や記録を行い、日勤リーダーへの報告

夜勤者への申し送り

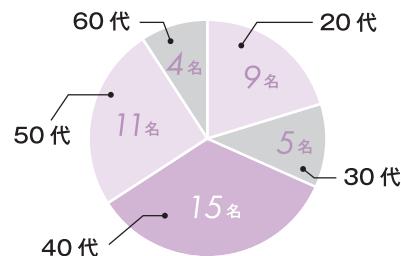
業務終了 ママさんナースは保育園へお迎えです！

数字で見る 医真会八尾リハビリテーション病院

看護職員の平均年齢

43歳

子育て世代が活躍しています！



建屋の新築移転

2021年

開放感ある綺麗な場所で
気持ちよくお仕事できます。
災害対策設計もしっかり。





積み上げたキャリアを活かし、さらなるスキルアップを応援
保健師・経験のある看護師・主任ケアマネジャー・ケアマネジャー・社会福祉士が活躍できる職場です。



八尾市地域包括支援センターあおぞら&在宅介護支援センターあおぞらが担うのは、ココ！

予防期

[入院] 急性期

[リハビリ] 回復期

維持・療養期

・予防教室



健康を維持
病気になる前に予防



・地域での健康相談、
生活指導

・介護相談



病気があっても
自宅での生活を支援



・ケアプラン作成



「おいしい、たのしい、元気になる」のテーマをチームワークで創る
介護老人保健施設 あおぞら

代表者挨拶

日々の変化を楽しめ、お年寄りが好きな方には、
間違いなくやりがいがある場所です。



あおぞらは地域の高齢者が自立した居宅での生活を送れるように、入所や通所・訪問リハビリなどのサービスを提供しながらサポートする施設です。特にリハビリには注力しており、理学療法士・作業療法士の運動や作業療法だけでなく、歯科・口腔外科の医師、歯科衛生士の協力も得ながら、嚥下力の低下に対するリハビリなどを言語聴覚士が行い、「食べられる喜び」を大切に取り組んでいます。

そんなあおぞらの看護師は施設管理医師と協力し医療面を担当しています。複数の病気を抱えた高齢者の看護は、変化に気づく観察力と、対応が必要な変化なのかを判断する力が必要です。しかし病院とは違い利用者さんとじっくり関わるので、お年寄りが好きな方は、やりがいを感じることができる場所であると確信しています。

事業部 部長 小畠 宜寛

施設概要

■入所定員 100名／通所リハ定員 49名／訪問リハ 約500件（月間）

■施設類型：超強化型

■入所者平均年齢86.3歳／平均介護度3.3／看取り10名（2021年7月～2022年6月）

職員のある1日を見てみよう

8:30 勤務開始

夜勤者からの申し送りや情報収集を行った後、オムツ交換の準備をします。



10:30 シーツ交換

ベッドのシーツを変え、気持ちよく過ごせるよう整えます。



12:00 食事介助

配膳を行い、楽しんで食事を召し上がっていただきます。



口腔ケア

食事後の口腔ケアも丁寧に。



13:00 昼食休憩

14:00 部屋周り、要観察者のバイタルサインを計測・記録 おやつ配膳・食事介助

16:30 夜勤者への申し送り・業務記録

17:00 退勤

残業はほとんどありません。自分で1日のスケジュールを組んで進めるので、業務を調整しやすいのも職場の魅力です。



福島 友妃／看護師

2022年入職

これまで病院勤務、在宅看護と、様々な看護師の経験を積んできました。その経験を活かしたい想いから、あおぞらへ入職しました。施設におけるご高齢者の方は人生の大先輩であり、第一線で活躍してきた皆さん。人生の終盤を穏やかに過ごしていただきたいなと思いながら日々の会話を大切にしています。病院と比べると看護師の人数は少なくなりますが、違う職種の方々と横の連携が取れて、ベテランさんも質問しやすい空気を作ってくれるので、安心して仕事に打ち込んでいます。

数字で見る 介護老人保健施設あおぞら

看護師の平均勤続年数

(2022年8/15現在)

約 14 年

病院での経験を積んだ看護師が活躍しています。

平均年齢

(2022年8/15現在)

51 歳

ベテランの看護師に相談できる安心感があります。

平均残業時間

(2021年)

10 時間弱／月

その日のスケジュールに合わせて自分で仕事内容を調整できます。



代表者挨拶

子育て期で仕事を諦めなくても大丈夫ですよ。
少しづつでも自分自身がステップアップできる場所です。

医真会総合クリニックは、外来専門施設です。幅広い診療科目・検診・検査室を設けています。一人一人の外来患者さんとのコミュニケーションを大切にして「また受診したい」と思っていたら、お気軽に来院ください。多岐にわたる科の種類や覚えることの多さに、もしかしたら戸惑ってしまうかもしれません。しかし、学びは大変多くレベルアップできます。職員たるがお互いにサポートし合い、みんなで協力できる職場です。安心して「いろいろなことをやってみよう」という気持ちを持ってほしいと思います。子育て期の方は、時間などの面で仕事に諦めを感じておられるかもしれませんが、勤務時間も一定なので、少しづつ、自分自身が描くステップアップをしていきましょう。

看護部 科長 是枝 和加子



診療科目

内科／神経内科／消化器科／循環器科／外科／整形外科／形成外科／脳神経外科／心臓血管外科／皮膚科／泌尿器科／眼科／婦人科／小児科／耳鼻咽喉科／歯科／歯科口腔外科／矯正歯科

多種多様な診療科に、急性期から慢性期まで。 地域の方が“困ったら、まず行く場所”

医真会総合クリニックは、毎日多くの患者さんが来られます。来院される患者さんは、目的も状態も様々で多岐にわたっています。私達は幅広い専門的な知識の習得や、技術の向上に精進し、他施設との連携を図りながら、患者さん一人一人に満足していただけるように努めています。

検診・検査も完備

施設内に、レントゲン、CT、超音波エコー、内視鏡も備わっており、当日に検査を実施し病気の早期発見に努めています。



総合クリニックは経験を積みたい方にぴったりの場所です。

診療科、機能はもちろんのこと、日々幅広く患者さんを受け付けている総合クリニックでは、個性に合わせて活躍できる場所があります。様々な診療科での経験を積みたい方、将来に向けてより専門的なことを学びたい方、限られた時間内でも最大限の経験値を積み上げたい方などにフィットする環境が揃っています。

✓ 時間が限られている中で将来に向けて経験は積んでおきたい！

✓ 1つのことを集中して学びたいから内視鏡室だと良さそうだ。

✓ 再就職のブランクが心配…とにかく沢山患者さんのケースを知りたい！

✓ 内科も外科も泌尿器科も全部経験したい。

✓ まだやったことのない〇〇科を知りたい！

✓ 以前経験した科を活かして次のステップに〇〇科を考えたい。



中尾 美奈子／看護師

これまで他の病院での勤務や、訪問看護をしてきました。子どもが生まれたことにより、夜勤や休暇の取得頻度などがライフスタイルに合わなくなってきたことを機にクリニックへ転職をしました。夕方勤務や夜勤がないこと、日・祝休みなので家族との時間を取れてありがとうございます。勤務日、子どもは市の保育施設をメインに預け、園の臨時休園や長期休暇時には医真会の森の子保育所を利用しながら、勤務にも集中できています。様々な科を経験できるクリニックで、毎日たのしく過ごしています！



浮田 千里／看護師

20代ではICUや一般外来の病院、療養型施設などでハードワークの日々を過ごしてきましたが、結婚・出産を機に働き方を変化させてきました。二人の子どもが自立してきた頃にクリニックの職員となりましたが、子どもと同じ生活時間を保てる点で、家庭との両立のしやすさを実感しています。

ママさんナースが多く、子育てや家庭について相談をしたり、急な家事都合についても理解してもらえる職場です。働く環境に不安のある方は安心できるのではないかと思います。

クリニックの子育て世代の働きやすいポイント！

- ◎ 日・祝休み
- ◎ 夜勤なし
- ◎ ほぼ定時で帰宅
- ◎ 子育て世代がたくさん働いている
- ◎ お互いに協力できる環境



地域との深いつながりで八尾市を支える在宅療養支援診療所
安中診療所

代表者挨拶

まちの人々とのコミュニケーションで
地域の医療を守る場所。

安中診療所は、午前は外来、午後は在宅診療の2軸で地域に根ざした診療所です。特に在宅診療での往診に主軸を置いています。時代の変遷とともに地域医療が重要視されるようになった今、地域の方々とのつながりはとても大切です。そのため、医師も看護師も着任時には、コミュニティセンターなどで開催されるオリエンテーションに参加し、地域の歴史を学びます。こうした取り組みがまちの人とのつながりを強固にし、今では医療で困った方がいると、近所の方が代わりに相談に来てくれるほどに。そんな当診療所の看護師は5名と少数精鋭チームゆえに、なんと言ってもアットホームな空気が魅力です。在宅診療に興味のある方は、これまで積んだ経験や個々の能力を活かせるでしょう。

看護科長 北尾 由美

施設概要

内科／小児科／循環器科／整形外科／脳神経外科

8:30

勤務開始

まずはメンバーで連絡事項を共有。本日の流れを確認します。



職員のある1日を見てみよう

外来業務

午前中は外来対応。
定期検診の方や、予防接種などの処置を行います。



12:00 昼食休憩

13:00 訪問診療の準備

午後からは訪問診療へ。
医師から処方された指示書のもと、採血や点滴を準備します。



13:30 訪問診療へ出発

「安中号」に乗って、市内の自宅や施設で待つ患者さんのもとへ。多い日は10名ほど訪問します。



15:30頃 訪問先から診療所へ

訪問後の事務処理

17:00 退勤し、保育園へ

安中診療所は斜め向かいに保育園があります。
病児となった際もすぐに駆けつけられて便利！



松田 真紀子／看護師

2016年入職

長年急性期病棟での看護師経験を積んできましたが、安中診療所で初めて外来へ来ました。子育てを考え、夜勤がなく、保育所が近い環境を条件に探していたところ安中診療所と出会いました。病棟とは違い、やることの幅広さに最初は戸惑いましたが、病院の外でも地域の方が挨拶をしてくださり、地域密着の安中診療所ならではのやりがいを感じています。往診では医師と同行し、一つとして同じではない患者さんの状況について、先生から診察の合間に教えていただくななど、本当に色々な学びがあり、毎日充実しています。



数字で見る 安中診療所

有給休暇取得率

100%

日曜・祝日および月2回の土曜休暇に加え、
全員が有給休暇をしっかり取れます。

年間訪問診療件数

(2021年実績)

定期訪問診療
2,358件

臨時訪問診療

437件

様々な診療を経験でき、
看護師としてのスキルも上がります。



あなたの強みを活かし、利用者さんの生活を支える
ふれあい訪問看護ステーション

在宅で過ごす療養者さまにとって
「なくてはならない看護師」になりませんか？

「病院」は積極的な治療をおこなう場所、なので一定の行動に制限がかしまいます。
「在宅」であれば、療養しながらも自分らしい生活を送ることができますので、生活の質が向上し、療養者・ご家族さまも安心感や満足感を得ることができます。

当ステーションではこの視点を大切に日々創意工夫し、病院勤務ではなかなか経験することができない看護を提供し続けています。ここに『訪問看護の醍醐味』があると私は思っています。

「あ～家に帰ってきてよかった！」この一言を療養者・ご家族さまからいただけると、もう訪問看護から抜け出せなくなりますよ！ぜひ一緒に働きませんか！

管理者 科長（訪問看護認定看護師）**大川 由美子**

代表者挨拶



ふれあい訪問看護ステーションは事務室を2箇所構えています。



選べる
2つの職場

本部：イズミヤ八尾店 近く



サテライト：アクロスプラザ八尾近く
(八尾リハビリテーション病院内)

- 朝礼は ZOOM で一緒に
- LINE WORKS でいつでも相談ができる環境
- 買い物や保育園が近くて便利

先輩のある1日を見てみよう



蓑島 恵美／看護師

2019年入職

大学病院で勤めた後、休憩期間を取り南米を旅しました。帰国して自分が経験したかった営業や喫茶店勤務に挑戦し、出産後再び医療の現場へ。経歴としては少し変わっているかもしれませんね。正直久しぶりの復帰で訪問看護は敷居が高いのでは…と思いましたが、どんどんできることが増え、のめり込みました。それは自分で考えて行動した結果がダイレクトに感じられるから。先生やケアマネジャーなど様々な職種の方との連携ではコミュニケーションの仕方を試行錯誤する毎日で、学びもたくさん。子育てとの両立は大変ですが楽しくてやめられません！

8:30 朝礼

色々な場所にいる職員と
Web会議ツールを使って朝礼を行います。



8:45 訪問へ出発

支給された社用車で訪問へ向かいます。



9:00 訪問1件目

利用者さんの入浴介助を行います。

10:00 訪問2件目

バイタルチェックなど本日の状態を確認。
その後褥瘡の処置を行います。



11:00 訪問3件目

水分、食事の摂取状況を確認後、状態観察とともに足浴を行います。



12:00 昼食休憩

13:15 午後の訪問（2件程度）
医師の指示をもとに処置を行ったり、身体の状態のアセスメントを行います。

15:00 電話連絡、書類作成

報告書・計画書の書類作成を行い、1日の報告と情報共有を行います。



16:00 業務終了 幼稚園まで子どもを迎えに行きます！

1日または半日の同行訪問大歓迎！

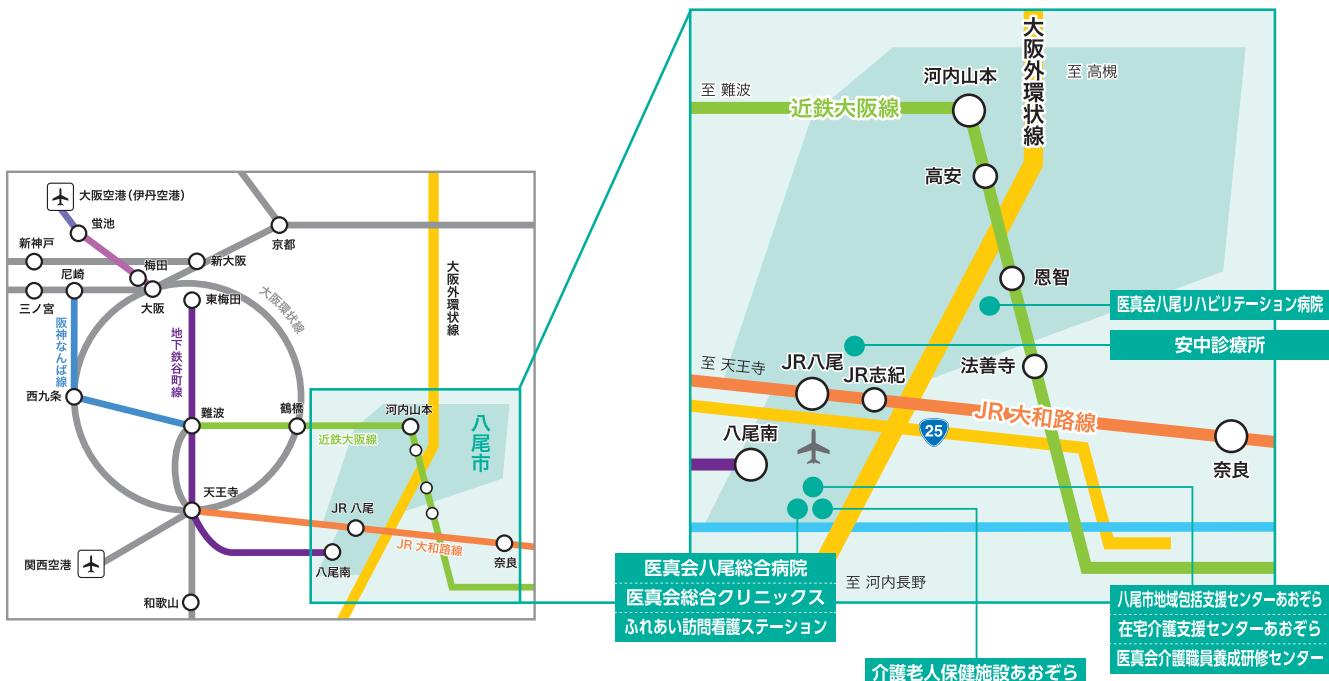
スタッフと一緒に車で、ご利用者様宅に訪問していただき、当ステーションが提供しているサービス内容や、職場環境を是非感してください。
まずはお問い合わせから、希望日時をお知らせください。

【お問い合わせ】

ふれあい訪問看護ステーション（管理者：大川 事務：的場）

072-948-5871

ACCESS



社会医療法人 医真会

医真会八尾総合病院 ☎ 581-0036 大阪府八尾市沼1-41

医真会総合クリニックス ☎ 581-0036 大阪府八尾市沼1-68-64

医真会八尾リハビリテーション病院 ☎ 581-0023
大阪府八尾市都塚3-1015-1

安中診療所 ☎ 581-0085 大阪府八尾市安中町9-3-12

介護老人保健施設あおぞら ☎ 581-0036 大阪府八尾市沼1-41

ふれあい訪問看護ステーション ☎ 581-0036 大阪府八尾市沼1-68-65
朝日プラザシティ八尾南2番館104号

八尾市地域包括支援センターあおぞら (大正中学校区高齢者あんしんセンターあおぞら) ☎ 581-0037
大阪府八尾市太田7-36-3

在宅介護支援センターあおぞら ☎ 581-0037 大阪府八尾市太田7-36-3

医真会介護職員養成研修センター ☎ 581-0036 大阪府八尾市沼1-41

お問い合わせ



〒581-0036
大阪府八尾市沼1丁目41番地
TEL 072-948-2500 (代表)
<https://ishinkai.or.jp>

応募や質問は、電話又は、申し込みフォームにてお寄せ下さい。

医真会人事本部

☎ 072-948-0266
(月~土 9:00~17:00)

お問い合わせ
フォームはこちら

